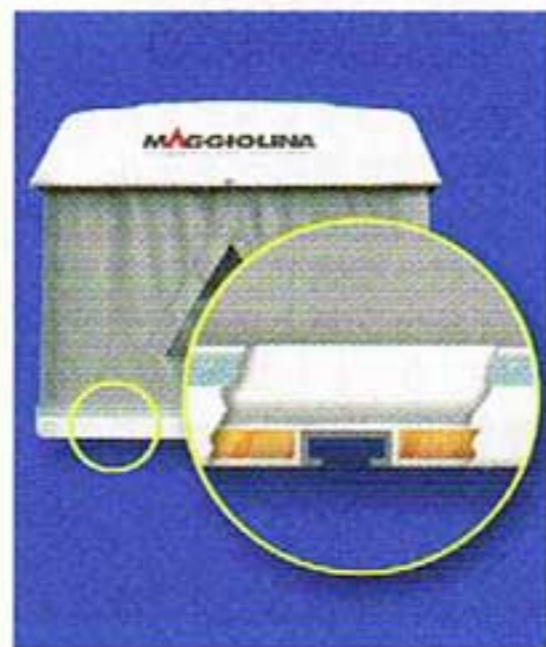
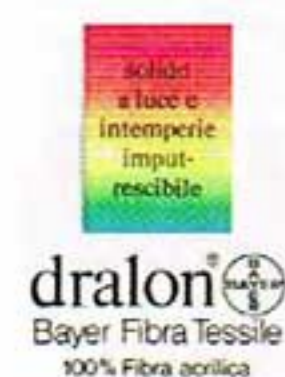




外装はFRP製で テント生地は DRALON



●マジョリーナの底板は、ウレタン発泡芯材を使っていて断熱効果を高めている。その厚みは25mm。2本のガイドレールの強度も十分で、市販のルーフキャリアへの取り付けを可能にした



●テント生地に使われているバイエル社製のハイテク素材DRALONは、水、防風性能に優れていて通気性も備えている



→ ルーフテントの取り付け

Installation of roof tent

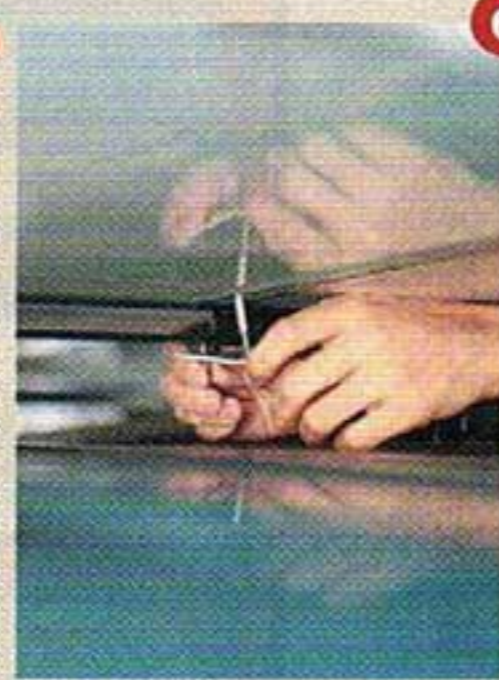
ルーフテントの取り付けはジファージャパンの工場へクルマを持ち込んで行なった。それが正解だと思ったのはルーフテントの入っている段ボール箱の大きさを見て。なんとサイズは215×152×35cm! フォークリフトで倉庫から出てきたそれは、笑ってしまうほど大きい。

面積でいうとタタミ2畳以上の大きさ。こんなに大きいんだから、その居住性も想像できるだろう。DIY希望の個人宅へ配送することもあるというが、家に届いたときにはその大きさにきっと驚くはずだ。

取り付け手順は下記を見てもらうとして、実際にクルマの上に乗せてみると、思ったよりも薄くて、大きさは気にならない。

●キャリアのフット部分に高さが必要なのはこの写真を見てもうえれば分かるだろう。ラチェット機能付きのメガネレンチだと作業が速い

●レンチで締めていって、下のプレートが若干反ってきたらOK。これで取り付けは終了。広い作業場所があれば、DIYでも取り付けは簡単だ



6



4

●底面を傷つけないように慎重に載せる。取り付け位置は、リアドアを開けても当たらないぎりぎりに設定。2本のキャリアの間隔にも決まりがある



1

●ルーフテントは、キャリアに載せて取り付ける。作業時にテントとクルマのルーフの間に手を入れてネジを回すので、フット部分の高さがある程度必要



7

●本体に2本あるレールに、プレートとU字型の金具を通してキャリアに取り付ける。計4本の金具で重量物を支えるので慎重に取り付けたい



2

●段ボールから出して持ち運ぶ。約49kgなので2人でも運べるが、大きいのでうまくバランスを取って。DIYで取り付けるときには3人以上いたほうが安心



3

●まず腰高くらいの場所へ置いて、持ち手を変えてからルーフに載せる。ハイエースなど車高のあるクルマに人力で載せるならやはり最低でも3人は必要か



●取り付けを行なったのは、ときどき展示会も行なうジファージャパンの埼玉工場。手伝ってくれたのは、飯田謙一郎さん(写真中)

ジファージャパン

www.ziferjapan.com

